

あいち農産物生産流通レポート

平成30年11月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ 第7回「愛知県茶会」の開催について	(園芸農産課) 1
・ スキャナーとフリーソフトを利用し、てん茶の葉色を簡易に測定	(農業総合試験場) 2
◎ 地域トピックス	
・ 海部地域のいちご集出荷施設の再編整備について	(海部農林水産事務所) 3
◎ 東日本情報	
・ 産地と消費者をつなぐ、稼げる農業の仕組みづくりについて	(東京事務所) 4
◎ 西日本情報	
・ 愛知県における6次産業化の取組 ～国家戦略特別区域を活用した農家レストランについて～	(食育消費流通課) 6
◎ フラワーページ	
・ 「国際フラワー&プランツEXPO」から見た花の需要喚起手法	(東京事務所) 8
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・ 名古屋・東京市場における青果物の11月の見通し	10
◎ 花き	
・ 切り花・鉢花の11月の見通し(県内市場)	22

内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。それぞれの情報につきましては、

【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

【消費者物価指数】

全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」
<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>
名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

【農業物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農業物価統計調査」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」
http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_

を御覧ください。

第7回「愛知県茶会」の開催について

園芸農産課

愛知県は、抹茶の原料となるてん茶の全国有数の大産地です。また、茶道文化の盛んな地域でもあります。本県では、お茶の消費の拡大とお茶文化の振興を図るため、平成24年から大村知事が席主となり「愛知県茶会」を開催しています。7回目となる今年度は、県政に功労のある方々を始め 291名の方をお招きして開催いたしました。

1 開催概要

日 時：平成30年10月8日（月・祝）

開催場所：愛知県公館

協力流派：茶道裏千家淡交会 愛知支部連合会

参加者数：県内市町村長や県議会議員をはじめ
291名が参加



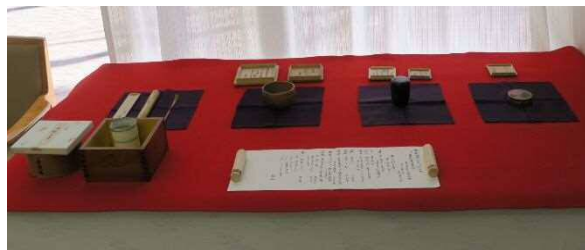
茶会の様子

2 テーマ、御抹茶、御菓子の銘について

テーマ：「平成有終」

御抹茶：「静閑の昔」 碧園 詰（豊田市）

御菓子：「秋のかほり」 御菓子所 芳光 製（名古屋市）



テーマに合わせた茶道具



静閑の昔と秋のかほり

3 会を終えて

6回の野点の参加者数合計は過去最多で、大盛況となりました。今後も愛知県の茶産業と、茶道文化を広く県内外にアピールしていきます。



知事の呈茶の様子



御協力いただいた茶道裏千家淡交会の皆様

スキャナーとフリーソフトを利用し、てん茶の葉色を簡易に測定

農業総合試験場

食品加工用のてん茶（抹茶の原料）の品質は、葉色が濃緑なものほど高いとされています。通常、葉色は色彩色差計等の色調測定機器で計測しますが、これらの機器は高価で、生産現場では利用されていません。そこで、市販のパソコン、スキャナー及び色を数値化するフリーソフトを使って、てん茶の色を簡易に測定する方法を開発しました。



直がけ被覆茶園

1 簡易測定法による葉色の測定

被覆材を直接茶樹にかける方法である「直がけ被覆」で栽培したてん茶を用いて、以下の方法を検討しました。

- ① てん茶を透明な袋に入れ、スキャナー（CanoScan LiDE220：キヤノン）で画像を読み取る。
- ② フリーソフト（Pictures to Color）を用い、読み取った画像中の任意 256 点の色相値（黄、緑、青等の色合い）等の色情報を解析、数値化する。
- ③ 表計算ソフト（エクセル）で、得られた色相値の平均値を算出する。



画像の読み取り状況

本測定法と色彩色差計の色相値を比較すると、正の相関がみられたため、本測定法による葉色の測定は実用性が高いと考えられました（図1）。

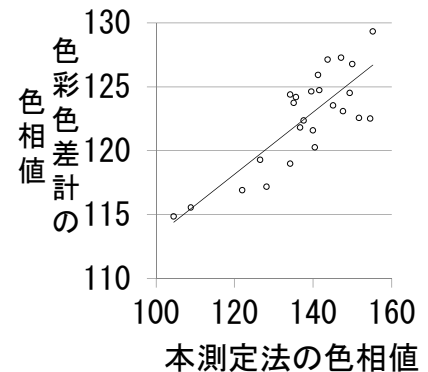


図1 色彩色差計の数値と本測定法の数値の関係

2 本測定法と品質との関係

「直がけ被覆」のてん茶を用いて、本測定法の色相値による品質評価を検討しました。

始めに、遮光率を変え、緑色の程度が異なる葉を用い、検討しました。その結果、遮光率が高くなるほど葉色は濃緑となり、色相値が高いことが明らかとなりました。

次に、色相値とてん茶の官能検査結果を比較したところ、両者に高い相関が見られました（図2）。

以上の結果から、本測定法による色相値により、てん茶の品質を数値で評価できることがわかりました。

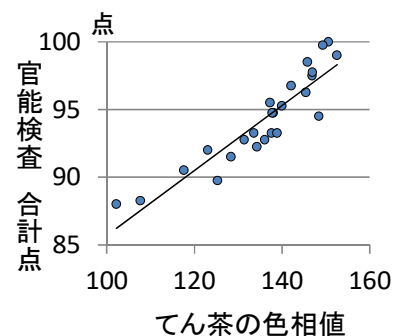


図2 てん茶の色相値と官能検査の合計点との関係（2016）

3 おわりに

本測定法は、パソコンとスキャナーがあれば誰でも利用できます。てん茶の葉色を数値で把握できるため、生産現場での品質判断のほか、施肥量や仕立て方法等、栽培方法の改善への活用が期待されます。

海部地域のいちご集出荷施設の再編整備について

海部農林水産事務所

J Aあいち海部では、販売力強化のため主要品目を中心に生産者組織、集出荷施設の再編を進めています。海部地域の主要品目である「いちご」については、平成 29 年に 4 つの生産者組織を統合した「あまイチゴ組合」が設立され、同年 10 月には旧生産者組織ごとに 4 か所あった集出荷施設を再編整備した「いちごセンター」が完成しました。

1 生産者組織の統合

J Aあいち海部では、旧市町村単位等にあった生産者組織を統合し、販売力を強化することを目的とした「連絡協議会」を平成 25 年に立ち上げました。平成 27 年には先行して販売体制を統合した共販組織「あまイチゴ連合会」を設立し、販売力・ブランド力の強化を進め、その後も各生産者組織と協議を重ね、平成 29 年 10 月に「あまイチゴ組合」を設立し、生産者組織の完全統合を果たしました。

2 いちごセンターの整備

平成 28 年度まで、集出荷は旧生産者組織ごとに 4 か所の拠点で行っていたため、品質の平準化等に課題を抱えていました。あまイチゴ連合会の設立により、共販出荷の連携が進んだことから、一元出荷できる拠点として集出荷施設の再編整備計画を立ち上げ、平成 29 年 10 月にいちごセンターが完成しました。

なお、整備に当たっては、国の補助事業である産地パワーアップ事業を活用しました。



補助事業名	平成 28 年度産地パワーアップ事業
所在地	愛西市早尾町晩稲場 36-1
事業内容	集出荷施設 1 棟 2,295 ㎡ 階級別ライン 8 レーン、 予保冷库 99 ㎡、資材倉庫 504 ㎡
総事業費	303,960 千円（消費税別途）
国補助金	97,281 千円
成果目標	販売額 10%以上の増加

3 販売力強化の取組

いちごセンター整備以前は、集出荷施設間の連携不足により実需の要望に応えきれないなど、販売チャンスを逃すこともありました。整備後は出荷規格を統一して大量ロット

での販売が可能となりました。併せて、単価の高い特殊規格への取組を進めた結果、稼働 1 年目（平成 29 年産）は、10 月の台風・長雨の影響から出荷量は約 843t と前年度から約 7%減少した一方で、販売額は約 10.4 億円と、前年度並を達成しました。

いちごセンターの概要

4 今後の産地の課題

他の品目と同様に生産者の高齢化が進んでおり、後継者、新規就農者が不足しているため産地の縮小が懸念されています。また、規模拡大の意向はあっても、地域の労働者の減少等により、パート労働力の確保が困難になっています。

今後も、新規就農者の確保対策、より省力的な出荷規格や容器の導入のほか、パッキングセンターの有効性などを検討し、産地の維持、発展に努めていきます。

産地と消費者をつなぐ、稼げる農業の仕組みづくりについて

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

9月3日（月）、10月23日（火）の両日、都内に駐在する農産物流通行政関係者で組織される「在京流通行政連絡会」の研修会において、都内で旬八青果店などを展開する株式会社アグリゲート（以下、アグリゲート社）代表取締役、左今克憲氏による講演及び現地視察が行われましたので紹介します。

1 アグリゲート社の概要

アグリゲート社は2010年に左今氏により設立された、旬八青果店を中核とした農産物の生産・流通・販売事業に加えて、教育事業、地域活性事業、ITサービス事業を行う会社です。SPF（Specialty store retailer of Private label Food）と名付けた生産から販売までの一気通貫経営による高い生産性の実現を通じ、食農業界を成長産業にすること、また成功事例を提示することで、周囲や地方経済の活性に繋がる新たなインフラの創造を目標としています（表1）。

表1 アグリゲート社の企業理念

【ミッション】

未来に「おいしい」をつなぐインフラの創造

【社是】

食農業界の常識を疑い、新しい経済を創造する

【行動規範】

食農という領域に軸足、高い生産性の追求、関わる人に得をさせる、など

2 「おいしい」「新鮮」を「適正価格」で

旬八青果店はアグリゲート社の中核となる事業で、「おいしい」「新鮮」な青果物を「適正価格」で取引することを掲げ、青果店の形態で青果物の対面販売を行っています。全国の産地に足を運び、規格外品や都内の市場で扱われにくい良食味な訳あり品（主に外観による下物）を目利きして積極的に仕入れることで、生産者と消費者双方が納得できる適正価格での販売を行っています。

店舗は、産地の直売所を都市部に再現したイメージで、「大きさや形状、色はやや劣るが、味や鮮度、価格は満足できる農産物」が揃っています。遠くの直売所まで行かなくても、都会に住みながら産地の新鮮な青果物を手頃な価格で購入できる、地方と都市をつなぐ八百屋として、現在都内では13店舗が展開されています。また、旬八青果店の出張所として、一部は都内のコンビニエンスストアでも取り扱いが始まっています。



お値打ちな青果物が並ぶ旬八青果店

3 SPFと既存の市場物流を活用した生産性の追求

産地から遠く離れた都市部で双方が納得できる適正価格を維持していくためには、物流コストが課題となります。アグリゲート社では、SPFによる一貫経営を行い、販売だけではなく、生産、荷主、仕入・卸及び製造を事業化し子会社を作るなどして、物流コストを削減しています。その一方で、商品の条件によっては流通方法を変更し、宅配便やチャーターボックス便のほか、既存の市場物流で仲卸から仕入れるルートもフル活用します。似たような同業他社が契約栽培・自社流通にこだわる中、商品にとってコスト削減に最も適した物流形態であれば、既存の市場物流を選択することで「コスト削減、適正価格の維持」を確保しています（表2）。

表2 アグリゲート社における青果物の流通経路

【自社の直送便】

- ① 宅配便（少ない物量、1か所の生産者のみの場合）
- ② ヤマト便（20～400kg、1か所から出来るだけ400kgを集めるようにする）
- ③ チャーターボックス便（500～600kg）
- ④ 相乗り便（運送会社や他社の定期便の隙間を埋めるような荷物）
- ⑤ チャーター便（10トン車、自社センターから発出）

【既存の市場物流】

既存の市場物流（市場の卸、仲卸からの仕入れ、上記よりも安価なら利用）

4 弁当・総菜事業

旬八青果店では、弁当・総菜事業も展開しています。仕入れた野菜を使った「おいしい野菜たっぷりのお弁当」は、青果店の顧客拡大やPRのほか、青果店の廃棄量を大きく削減するとともに、夕方以降の来客数が多い青果店にあって、昼間の来客数の増加、店舗や人的資源の有効活用が進み、会社全体としての生産性向上に繋がっています。健康志向や「おいしい野菜をたくさん食べたい」という需要に合致し、オフィス街にある店舗では青果店の売り上げの7割近くを占めるまでとなっています。



メイン1種に根菜類がゴロゴロ

5 稼げる農業の仕組みを作る

旬八青果店を中核とした一貫経営のほか、アグリゲート社は地域活性事業として、店舗でのフェア、ブランディング、物流構築の支援、コンサルタントなどの事業も行っています。また旬八大学と呼ばれる食農業界や青果店に興味を持つ人を対象にしたサポート事業を行い、自分たちの実践する「稼げる農業の仕組み」の考え方やノウハウを提供しています。

アグリゲート社の掲げる物流構築や事業形態、価値観などのビジョンは、今後の農産物物流に大きな影響を与える存在になるかもしれません。



店員さんとロゴ前掛け

愛知県における6次産業化の取組 ～国家戦略特別区域を活用した農家レストランについて～

食育消費流通課

「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」いわゆる六次産業化・地産地消法が平成23年に施行され、本県は「愛知県6次産業化サポートセンター」を平成25年度から設置し、農林漁業者等の6次産業化の取組を支援しています。

また、平成25年に国家戦略特別区域法が施行され、6次産業化を促進し、農家の所得の増大等を図るため、国家戦略特別区域（以下「国家戦略特区」という。）を活用した農家レストランの開業が全国で進んでいますので紹介します。

1 国家戦略特区を活用した農家レストランについて

農業分野では、6次産業化の推進のため、地域で生産される農畜産物又はそれを原材料として製造・加工したものの提供を行う農家レストランについて、国家戦略特区の区域計画の認定を受けると、農業者が農用地区域内にレストランを設置できるよう要件が緩和されました。

この農家レストランの設置に係る国家戦略特区の区域計画の認定は全国で5区域、12件あり、そのうち7件の農家レストランが開業しています（表1）。

本県では、平成27年9月に計画の認定を受けた常滑市の株式会社ブルーチップファームが、平成30年4月9日に「サンセットウォーカーヒル」を開業し、同じ日に認定を受けた常滑市の有限会社デイリーファームが、平成30年6月9日に「たまご農家のキッチンレシピヲ」を開業しました。また、平成29年1月に認定を受けた日進市の郊外田園クラブ株式会社が、平成30年1月20日に「サバーヴィアン」を開業しました。

表1 農家レストラン設置に係る区域計画認定状況（平成30年6月14日時点）

区域計画認定日	区域名	認定事業主体数	うち開業件数
平成26年12月19日	新潟市	4	3
平成27年9月9日	愛知県	2	2
平成28年4月13日	東京圏 (神奈川県)	1	1
平成29年1月20日	愛知県	1	1
平成29年12月15日	沖縄県	1	0
平成30年3月9日	関西圏 (兵庫県)	2	0
平成30年6月14日	関西圏 (兵庫県)	1	0
計		12	7

2 国家戦略特区を活用した本県の農家レストランの概要

(1) サンセットウォーカーヒル

- ・設置者：株式会社ブルーチップファーム
- ・場所：常滑市金山上白田130
- ・開業日：平成30年4月9日
- ・営業時間：午前11時から午後10時まで
(不定休)
- ・コンセプト：アメリカのオレゴン州にある農場をイメージしたレストラン
- ・メニュー：ピザ、肉料理（知多牛ステーキ）、サラダ等



サンセットウォーカーヒル外観

(2) たまご農家のキッチンレシピヲ

- ・設置者：有限会社デリーファーム
- ・場所：常滑市大谷字芦狭間250
- ・開業日：平成30年6月9日
- ・営業時間：午前10時から午後5時まで
(定休日：毎週木曜日、第1、3水曜日)
- ・店のコンセプト：「たまご料理」を通じて、「食べる」を「考える」店
- ・メニュー：オムライス等の自社で採れたこだわりの卵を使った料理



たまご農家のキッチンレシピヲ外観

(3) サバーヴィアン

- ・設置者：郊外田園クラブ株式会社
- ・場所：日進市赤池町下田90番地
- ・開業日：平成30年1月20日
- ・営業時間：午前8時から午後5時まで
(定休日：毎週火曜日、第2月曜日)
- ・料理のコンセプト：大切な家族に毎日食べさせたい料理
- ・メニュー：旬の野菜を取り入れた料理



サバーヴィアン外観

3 今後の農家レストランの推進

県としましては、自ら生産した生産物や地元産の新鮮な食材を使用して料理を提供する農家レストランは、農業への理解促進と地域経済全体の活性化に大きく貢献できるものと期待しています。

そのため、今後も、国家戦略特区を活用しながら、農家レストランの設置支援を進めていきます。

「国際フラワー&プランツ EXPO」から見た需要喚起手法

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

平成 30 年 10 月 10 日（水）から 12 日（金）にかけて、「第 15 回国際フラワー&プランツ EXPO (IFEX)」（主催：リード エグジビション ジャパン(株)）が幕張メッセ（千葉県千葉市）で開催されましたので、概要を紹介します。

1 フラワー&プランツ EXPO とは

フラワー&プランツ EXPO は日本最大級の花の展示会で、世界中から花・植物に関わる様々な出展者が集まります。会場には、全国各地の生花を扱う店舗や市場、生産者等の業界関係者、雑貨店、通販、デザイナー等関連業種の方が来場し、商談や情報交換が活発に行われていました。また、今回は 15 周年記念イベントとして、花や植物の売上アップをテーマとしたセミナーが開催されました。



会場内の様子

2 花や植物の売上アップセミナー

取材当日の 10 月 10 日のセミナーでは、花の需要を喚起する取組や、新規顧客開拓などについての講演が行われました。

（一社）花の国日本協議会等からは、「WEEKEND FLOWER（ウィークエンドフラワー）」の取組が紹介されました。これは「花と素敵な週末を。」をコンセプトに、花きのホームユース市場を開拓し、家庭に花があるのを当たり前にするきっかけづくりの取組です。講演者の 1 人である生花店からは、この取組を通じて季節の花のアピールなどを行い、新規客数やリピーターを増加させた事例が報告されました。

また、（株）プロトリーフからは、ガーデニング需要の変遷が紹介されました。園芸資材の製造・小売や園芸店経営を行う同社によると、現在は昔からの園芸愛好家に加え、若い人がインテリア誌等に掲載された記事を見て、植物を部屋の装飾に使おうとする傾向があるそうです。こうした人は園芸に慣れていないところがあることから、植物に詳しい店員によるアフターフォローが重要とのことでした。

フラワー&プランツ EXPO では、植物そのもののほかに花器等の装飾資材、インテリア等も展示されていました。セミナーでも話があったとおり、花が生活の中で自然と使われるよう、花き業界全体に加え関連業種も含めた需要喚起とともに、新しい需要者に向けて植物の情報や管理方法を分かりやすく伝えていくことが必要になると思われました。



室内インテリア用のグリーントラッグ

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 %台以下
 わずか : ± 2 %台
 や や : ± 3 ~ 5 %台
 かなり : ± 6 ~ 15 %台
 大 幅 : ± 1 6 %以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：ぎんなん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
29年実績	74	74 (99%)	999	992	— — —
30年見通し	110	—	750	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
前年は不作年で入荷量が大きく落ち込んだ中、本年は平年並の130t程度の入荷を計画していたが、夏の高湿干ばつと9月の台風により大きな被害があった。台風で樹が被害を受けた影響で、晩生品種の藤九郎が前倒し気味に出荷され、現在は潤沢な入荷だが、全体の入荷量は平年を下回るか。入荷量は不作となった前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。			現在、産地によって300g規格と500g規格の荷物が市場に入荷されているが、出荷規格を統一できれば、より取り扱いが容易となり、売り込みもかけやすくなると思われる。 また、本年度は高湿干ばつや台風の影響で産地では落果や黄変が多いとの話が聞かれるが、適切な選別をしていただけており、市場入荷分への影響はあまり見られない。		

○ 東京都中央卸売市場（品目：カリフラワー）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
29年実績	3,581	184 (5%)	260	266	茨城 (17%) 長野 (15%) 埼玉 (12%)
30年見通し	3,400	—	260	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
愛知産の京浜市場への入荷はまだ始まっておらず、台風の影響で生育遅れと収量低下が懸念される。今後入荷が始まり、厳寒期の12月～2月がピークの見込み。10月の主力の新潟県でも、猛暑の影響で生育はやや遅れ気味で、厳寒期を狙う福岡、長崎等の産地は年末・年明け頃から本格化する。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。			愛知産は、量的には少ないものの高品質で高く評価されている。カリフラワーは業務色が強い品目なので、引き続き8玉中心で安定した出荷をお願いしたい。 ロマネスクや色付きのものは、クリスマス前の1週間が需要のピークとなるため、これに応じた出荷を心がけてほしい。その中でも色付きのものは発色の良さが評価されるので選別の強化を図ってほしい。		

名古屋・東京市場における青果物の11月の見通し

名古屋中央卸売市場

10月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	25年	34,141	182	178	181	176	北海道 36%
	26年	32,804	233	223	230	242	茨城 15%
	27年	35,109	177	187	177	162	愛知 14%
	28年	31,265	267	288	277	236	長野 8%
	29年	34,397	236	237	237	232	青森 5%
	5ヵ年平均	33,543	219	223	220	210	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	31,700	235	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、愛知、茨城などが中心となる。9月の台風被害を受けた地域では、生育不良や品質低下などによる11月入荷への影響のほか、愛知のキャベツなどでは蒔き直しによる冬場の大幅な数量減も懸念される。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>							
だいこん	25年	2,387	95	97	99	94	千葉 33%
	26年	2,075	61	63	64	64	愛知 31%
	27年	2,210	60	81	57	50	青森 21%
	28年	1,830	145	157	166	116	北海道 6%
	29年	2,024	118	103	126	137	新潟 4%
	5ヵ年平均	2,105	94	99	100	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,900	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、千葉を中心に、青森などから入荷する。愛知と千葉は遅れ気味で、入荷も後ろ倒し傾向となる見込み。一部では台風の影響もみられる。青森の残量は前年多かったが、本年は平年並となるか。入荷量は前年をかなり下回り、価格は高値だった前年並となる見込み。</p>							
にんじん	25年	2,101	156	147	196	208	北海道 56%
	26年	1,907	90	79	91	108	愛知 19%
	27年	1,672	135	135	143	129	青森 11%
	28年	1,702	195	241	232	147	岐阜 11%
	29年	2,080	139	147	143	135	富山 3%
	5ヵ年平均	1,892	142	148	160	147	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,600	220	230	220	210	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道を中心に愛知、青森などから入荷する。北海道は天候不順の影響で全体的に小玉傾向。数量も少ない見通し。愛知は出遅れに加え、台風21号による被害もあり、11、12月の作況は悪いとみられる。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

10月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	25年	125,287	250	245	247	256	茨城 22%
	26年	126,336	196	189	191	211	北海道 20%
	27年	127,700	195	209	188	188	千葉 17%
	28年	120,580	290	310	295	266	群馬 5%
	29年	122,707	269	264	265	279	青森 5%
	5ヵ年平均	124,522	239	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	124,000	245	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>葉茎菜類は太平洋岸を中心に台風による塩害が、果菜類は日照不足による着果不良が懸念されたものの、入荷への影響は今のところ大きく出ていない。気温が高く推移したことも助けとなったか。入荷量は前年並となり、価格は前年、前々年をかなり下回る見込み。</p>					
だいこん	25年	12,654	90	89	94	87	千葉 55%
	26年	13,180	52	51	50	55	青森 18%
	27年	12,726	54	71	51	41	神奈川 14%
	28年	12,485	124	141	136	95	茨城 8%
	29年	11,497	105	89	105	123	栃木 2%
	5ヵ年平均	12,508	84	88	86	79	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	12,000	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、青森からの入荷が中心となる。北海道は最終盤。関東産地との端境で一時的に量を減らすも、台風による塩害から回復が見込まれる千葉、神奈川が量を増やし、後半は落ち着くと見込まれる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
にんじん	25年	6,843	162	138	165	182	千葉 50%
	26年	7,883	85	78	89	89	北海道 27%
	27年	7,686	124	121	133	120	青森 9%
	28年	6,912	211	233	227	180	埼玉 6%
	29年	7,165	137	130	146	134	茨城 3%
	5ヵ年平均	7,298	142	138	150	139	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	7,000	190	220	190	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、北海道からの入荷が中心となる。終盤を迎える北海道は作柄不良で終了が早い。また塩害を受ける産地もあるが、内陸部産地は順調であり極端な減少はないと見込まれる。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年、平年ともに大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

10月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)			
				上旬	中旬	下旬	
ほうき	25年	3,466	88	91	101	76	茨城 63%
	26年	3,658	40	38	43	42	長野 24%
	27年	3,535	51	66	50	39	愛知 9%
	28年	3,131	144	200	139	103	長崎 1%
	29年	3,906	105	82	108	128	岐阜 1%
	5ヵ年平均	3,539	84	92	87	78	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	3,500	100	100	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に長野、愛知から入荷する。茨城は台風の影響でやや少ない入荷予想。愛知も台風被害のほか生育遅れがみられ、入荷量は少ないか。長野は気温が高く推移すれば、それなりの残量が出る見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価格は高値だった前年をやや下回る見込み。</p>					
キヤベツ	25年	3,882	115	108	113	127	愛知 43%
	26年	3,749	63	55	61	78	茨城 36%
	27年	3,285	80	119	75	50	富山 8%
	28年	3,130	178	248	184	121	長野 5%
	29年	3,711	111	102	111	120	群馬 2%
	5ヵ年平均	3,552	108	122	107	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	3,200	100	100	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、茨城を中心に入荷する。愛知は生育遅れに加え、台風の被害が大きく、蒔き直しをした圃場もある。特に冬場は大幅な入荷減となる見込み。茨城は台風被害も少なく、平年並の入荷となるか。入荷量と価格はともに前年をかなり下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	25年	199	770	791	767	775	岐阜 62%
	26年	311	465	453	452	520	愛知 21%
	27年	428	260	391	252	219	茨城 9%
	28年	296	596	721	731	453	山口 2%
	29年	162	969	1,086	955	892	北海道 1%
	5ヵ年平均	279	532	612	553	493	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	230	700	800	700	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、岐阜を中心に入荷する。岐阜は中旬に終了し、その後は愛知が中心となる。愛知は少なかった前年より増量するが、9月の天候不順により作況は良くない。愛知が減少した分は、茨城が入荷増となるか。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

10月31日現在

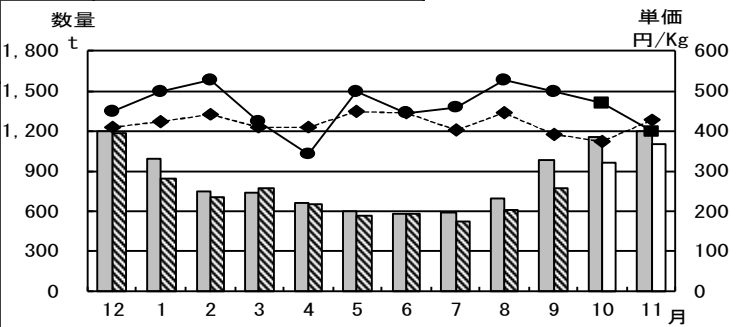
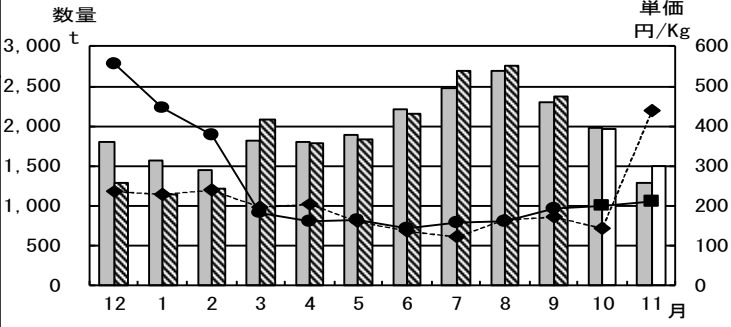
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	25年	13,853	75	79	84	63	茨城 81%
	26年	11,922	33	33	34	33	長野 11%
	27年	11,706	47	60	45	35	群馬 6%
	28年	14,560	116	151	114	85	
	29年	15,800	81	60	78	104	
	5ヵ年平均	13,568	73	79	74	67	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	15,500	80	90	80	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷が中心となる。10月初旬の台風の塩害により外葉が痛み、入荷に影響する懸念があったが、その後の暖かい気温などにより回復の兆しが見られる。 入荷量、価格はともに前年並となる見込み。</p>					
		<p>ほうきの数量と単価の推移グラフ。数量は12月～11月の月別データを示し、単価は同様の期間の月別データを示す。数量は概ね10,000t前後で推移し、単価は80円/kg前後で推移している。</p>					
キャベツ	25年	13,300	113	96	112	132	千葉 32%
	26年	12,682	63	53	59	79	茨城 25%
	27年	13,583	83	114	81	57	愛知 25%
	28年	13,717	172	226	175	121	群馬 7%
	29年	14,193	105	96	101	119	神奈川 6%
	5ヵ年平均	13,495	108	118	106	102	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	14,000	95	90	95	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、愛知、茨城からの入荷が中心となる。定植時期の長雨と台風により、生育遅れと年明けへの影響が懸念される。11月を含め年内は遅れながらも順次出てくると見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
		<p>キャベツの数量と単価の推移グラフ。数量は12月～11月の月別データを示し、単価は同様の期間の月別データを示す。数量は概ね10,000t前後で推移し、単価は100円/kg前後で推移している。</p>					
ほうれんそう	25年	1,255	651	640	648	662	群馬 32%
	26年	1,610	426	413	382	499	茨城 26%
	27年	1,895	295	342	273	272	栃木 14%
	28年	1,292	612	689	674	501	千葉 7%
	29年	798	927	920	891	976	埼玉 5%
	5ヵ年平均	1,370	524	546	515	522	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,200	600	610	610	580	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。台風の被害を受けた産地もあるが、高い気温などの影響を受けて回復が見込まれる。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回るも平年以上となる見込み。</p>					
		<p>ほうれんそうの数量と単価の推移グラフ。数量は12月～11月の月別データを示し、単価は同様の期間の月別データを示す。数量は概ね1,000t前後で推移し、単価は500円/kg前後で推移している。</p>					

名古屋市中央卸売市場

10月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	25年	1,194	368	356	359	389	長野 27%
	26年	1,213	288	271	280	330	北海道 19%
	27年	1,219	297	280	305	325	秋田 9%
	28年	1,149	423	426	453	398	富山 8%
	29年	1,194	426	433	401	457	鳥取 6%
	5ヵ年平均	1,194	359	352	358	379	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,100	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野、北海道、秋田など各産地から入荷する。秋田は順調だが、長野や北海道、富山は夏の高温等により入荷量が1～2割少ない見通し。愛知は台風の影響で遅れており、折れ等による秀品率低下を見込む。入荷量は前年をかなり下回り、価格は高値だった前年をかなり下回る見込み。</p>					
しそ	25年	1,498	311	288	284	370	茨城 53%
	26年	1,871	150	130	132	202	兵庫 27%
	27年	2,002	127	135	111	140	愛知 5%
	28年	1,612	290	317	290	261	長崎 3%
	29年	1,279	439	434	366	535	群馬 3%
	5ヵ年平均	1,653	246	243	222	281	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,500	210	210	210	210	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、兵庫を中心に、愛知などから入荷する。茨城は平年並の見通し。兵庫はやや遅れがみられ、入荷量が増えるのは中旬頃となるか。愛知は台風被害が若干あるが、少しの遅れ程度にとどまる見込み。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅうり	25年	897	458	616	423	392	愛知 30%
	26年	853	385	359	386	410	群馬 23%
	27年	941	291	333	343	263	宮崎 19%
	28年	876	448	537	467	367	高知 9%
	29年	797	494	618	396	491	山梨 8%
	5ヵ年平均	873	412	489	402	381	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	800	450	500	450	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、群馬、宮崎を中心に入荷する。群馬などの抑制産地から、愛知や宮崎などに産地が切り替わる。施設栽培のものは9月の台風によるビニルハウス被害等もあり、7～10日ほど遅れる見込み。入荷量は前年並で、価格は高値だった前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

10月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	25年	6,578	302	284	308	315	青森 15%
	26年	6,004	244	233	245	267	茨城 12%
	27年	5,598	279	273	277	287	秋田 11%
	28年	5,178	349	368	372	310	新潟 7%
	29年	5,669	407	387	384	452	栃木 7%
	5ヵ年平均	5,805	314	306	315	325	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	5,800	400	390	400	410	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森、茨城、秋田などからの入荷が中心となる。北海道、東北産地が終盤を迎えるも生育順調で太物が多く入荷は堅調。関東産地も台風被害から回復しており、大きな端境もなく推移すると見込まれる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
<p>茨城、茨城、秋田などからの入荷が中心となる。北海道、東北産地が終盤を迎えるも生育順調で太物が多く入荷は堅調。関東産地も台風被害から回復しており、大きな端境もなく推移すると見込まれる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並となる見込み。</p>							
しそ	25年	6,970	285	255	249	349	茨城 64%
	26年	7,384	135	111	118	185	長崎 8%
	27年	8,563	117	128	94	132	栃木 5%
	28年	6,827	284	303	295	253	静岡 5%
	29年	5,117	454	412	401	570	福岡 4%
	5ヵ年平均	6,972	237	226	214	275	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	6,500	160	160	160	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に静岡、兵庫などからの入荷となる。台風の影響は10月で収束し、主力の茨城を中心に11月は潤沢な入荷となる。天候不順で高値となった前年と対照的に、価格面では苦戦が見込まれるか。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
<p>茨城を中心に静岡、兵庫などからの入荷となる。台風の影響は10月で収束し、主力の茨城を中心に11月は潤沢な入荷となる。天候不順で高値となった前年と対照的に、価格面では苦戦が見込まれるか。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
きゅうり	25年	4,551	462	572	438	398	埼玉 30%
	26年	4,547	394	344	414	431	群馬 24%
	27年	4,784	140	249	269	418	宮崎 18%
	28年	4,432	449	500	460	391	千葉 9%
	29年	4,507	476	546	394	491	茨城 5%
	5ヵ年平均	4,564	381	440	393	426	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	4,500	420	430	420	410	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>埼玉、群馬から宮崎、千葉に中心産地が移る。関東内陸から西南暖地に産地の切り替えが進む。9月の日照不足から終盤に量を出せない産地も出てくる。後半には遅れていた西南暖地が本格化し入荷は増える。 入荷量は前年並、価格は平年を上回るも高値となった前年をかなり下回る見込み。</p>					
<p>埼玉、群馬から宮崎、千葉に中心産地が移る。関東内陸から西南暖地に産地の切り替えが進む。9月の日照不足から終盤に量を出せない産地も出てくる。後半には遅れていた西南暖地が本格化し入荷は増える。 入荷量は前年並、価格は平年を上回るも高値となった前年をかなり下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

10月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	25年	416	460	454	458	450	熊本 46%
	26年	441	405	384	408	431	愛知 45%
	27年	469	346	335	347	365	高知 6%
	28年	428	453	405	491	477	茨城 1%
	29年	363	507	513	513	501	徳島 1%
	5カ年平均	423	430	413	439	441	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	370	480	480	480	480	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知を中心に入荷する。熊本の長なすは作柄良好。やや遅れているが、11月上旬には出揃うか。愛知は台風24号の影響で夏秋作の終了が早まる。冬春作も一部被害があるが、大幅な入荷減はない見込み。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高値だった前年をやや下回る見込み。</p>					
ト マ ト	25年	834	465	422	465	521	熊本 33%
	26年	1,116	322	332	313	321	愛知 30%
	27年	1,361	267	336	261	219	岐阜 18%
	28年	761	572	541	541	654	三重 10%
	29年	1,014	417	418	400	439	千葉 5%
	5カ年平均	1,017	387	396	375	400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,100	430	450	430	410	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知などを中心に入荷する。愛知は台風による停電等もあったが、大きな影響はない見通し。熊本、愛知とも順調だが小玉傾向で、箱数が若干減少する可能性も考えられる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	25年	324	756	727	748	774	愛知 50%
	26年	355	658	702	628	613	熊本 38%
	27年	453	580	772	582	443	北海道 5%
	28年	276	1,122	1,126	1,087	1,150	宮崎 3%
	29年	360	779	832	714	791	和歌山 2%
	5カ年平均	354	753	817	727	719	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	350	750	800	750	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本を中心に入荷する。愛知は台風による施設被害が若干あるが、大きな影響はない見通し。熊本などの西南暖地は台風の影響で出遅れが予想される。熊本の数量が出揃うのは11月中旬頃となるか。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

10月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	25年	2,187	472	484	451	485	高知 65%
	26年	2,346	379	320	361	492	福岡 15%
	27年	2,600	343	311	354	371	熊本 6%
	28年	2,290	483	434	504	481	栃木 5%
	29年	1,906	580	605	579	553	佐賀 3%
	5ヵ年平均	2,266	444	421	442	471	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	2,200	450	430	460	460	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知を中心に福岡などから入荷する。主力となる高知の生育は概ね順調。全体的に目立った問題はないものの、福岡で一部、病害虫の発生が報告されており今後の懸念材料となるか。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は平年並も、前年を大幅に下回る見込み。</p>					
<p>高知を中心に福岡などから入荷する。主力となる高知の生育は概ね順調。全体的に目立った問題はないものの、福岡で一部、病害虫の発生が報告されており今後の懸念材料となるか。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は平年並も、前年を大幅に下回る見込み。</p>							
ト マ ト	25年	4,602	480	424	475	545	熊本 29%
	26年	5,649	343	335	333	364	千葉 20%
	27年	6,903	292	359	278	252	愛知 13%
	28年	3,912	624	589	605	690	茨城 10%
	29年	5,235	437	405	425	491	栃木 8%
	5ヵ年平均	5,260	414	409	402	440	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	5,000	400	420	410	370	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、千葉、愛知からの入荷が中心となる。天候不順により出方の鈍かった産地も10月の好天で回復に向かっており、11月は順調に増量すると見込まれる。ただ、小玉も多く価格は平年を割る予想となる。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
<p>熊本、千葉、愛知からの入荷が中心となる。天候不順により出方の鈍かった産地も10月の好天で回復に向かっており、11月は順調に増量すると見込まれる。ただ、小玉も多く価格は平年を割る予想となる。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
ミ ニ ト マ ト	25年	1,519	681	677	670	695	熊本 25%
	26年	1,686	572	608	544	563	愛知 21%
	27年	2,137	551	709	531	432	千葉 16%
	28年	1,216	1,061	1,072	1,009	1,099	茨城 10%
	29年	1,730	725	769	660	747	静岡 6%
	5ヵ年平均	1,658	690	748	656	670	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,800	683	750	650	650	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、茨城などからの入荷が中心となる。トマト同様、樹勢の弱さから不作傾向であったが回復に向かっており、今後の入荷は順調に増えていく。後半は各産地の作付け増もあり量も出揃う。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
<p>熊本、愛知、茨城などからの入荷が中心となる。トマト同様、樹勢の弱さから不作傾向であったが回復に向かっており、今後の入荷は順調に増えていく。後半は各産地の作付け増もあり量も出揃う。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

10月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	25年	459	470	515	486	433	鹿児島 38%
	26年	488	302	366	320	304	宮崎 31%
	27年	549	228	267	236	252	高知 18%
	28年	394	584	631	614	521	茨城 10%
	29年	381	602	691	615	510	岩手 3%
	5ヵ年平均	454	417	473	434	390	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	400	560	600	580	530	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島、宮崎を中心に入荷する。鹿児島や宮崎などの西南暖地はやや遅れており、入荷量は少ない。夏秋作も例年より終了が早く、茨城の抑制栽培も減少している。前年に比べて入荷増の価格安となるが、平年と比べると入荷量はかなり少なく、価格は大幅に高い見込み。</p>					
白菜	25年	2,649	100	99	107	98	北海道 94%
	26年	2,706	88	90	92	85	長崎 6%
	27年	2,685	97	99	99	98	
	28年	2,442	171	161	175	180	
	29年	2,446	106	99	109	108	
	5ヵ年平均	2,586	111	109	115	113	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	2,400	115	100	115	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に、長崎の秋作が一部入荷する。北海道は計画出荷の時期に入るが、天候不順による不作傾向から入荷量は例年よりやや少ない見込み。長崎は概ね平年並の入荷を見込む。入荷量は前年並だが平年よりかなり少なく、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
たまねぎ	25年	4,774	109	109	116	121	北海道 99%
	26年	5,908	77	81	80	78	
	27年	6,159	68	73	71	69	
	28年	6,351	67	70	69	66	
	29年	7,322	74	75	81	73	
	5ヵ年平均	6,103	77	80	82	79	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	6,500	85	85	85	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からほぼ全量を入荷する。9月の台風でコンテナ輸送が止まった影響などもあり、ある程度の価格帯で推移している。サイズはL大中心の入荷となる見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

10月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	25年	1,751	471	544	472	417	茨城 51%
	26年	1,798	304	334	291	289	宮崎 23%
	27年	1,901	262	292	241	250	高知 12%
	28年	1,723	556	584	601	496	鹿児島 9%
	29年	1,592	616	661	637	559	岩手 4%
	5ヵ年平均	1,753	434	475	440	396	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,600	530	530	530		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に宮崎、高知から入荷する。主力の茨城の生育は順調。台風の進路だった宮崎や高知も被害はあったものの、平年並の出荷まで回復している。 入荷量は前年並で、価格は高値だった前年をかなり下回るも平年を上回る見込み。</p>					
白菜	25年	8,433	106	104	106	107	北海道 98%
	26年	7,633	91	91	91	90	長崎 2%
	27年	7,069	98	100	96	97	
	28年	7,235	170	161	169	181	
	29年	7,453	103	100	102	108	
	5ヵ年平均	7,565	113	111	112	116	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	7,500	120	120	120		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。10月は好天に恵まれ順調に作業が進むも、小玉傾向で貯蔵量は平年を下回る産地が多い。不足はしないまでも、出回る量が減り価格は平年を上回ると見込まれる。 入荷量は平年並となり、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
タマネギ	25年	10,113	117	112	119	120	北海道 95%
	26年	10,767	82	81	81	84	中国 3%
	27年	9,265	73	75	73	73	
	28年	10,732	74	75	73	73	
	29年	11,577	82	79	82	85	
	5ヵ年平均	10,491	86	84	85	87	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	11,000	85	85	85		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。11月は平年を上回る出荷計画が立てられているが、雨が多く今後の病害にも懸念が残る。入庫が終了すれば、出荷調整が行われながらの相場となる。 入荷量は平年を上回るも前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

10月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	25年	11,404	283	278	290	292	岐阜 16%
	26年	11,560	256	238	268	270	長野 11%
	27年	10,847	282	278	285	297	フィリピン 11%
	28年	10,314	314	317	316	316	静岡 11%
	29年	10,235	307	285	319	330	和歌山 9%
	5ヵ年平均	10,872	287	278	295	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
30年見通し	10,200	290	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	みかん、りんご、かきなどが主な品目となる。台風21号や24号の影響により落果や傷果の発生が多く、11月も各品目で下級品の増加が予想される。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。						
み	25年	4,342	228	231	241	221	静岡 28%
	26年	4,311	167	155	180	167	熊本 21%
	27年	3,709	224	247	220	213	和歌山 18%
	28年	4,077	259	276	269	244	三重 13%
	29年	3,829	271	243	286	285	愛知 11%
	5ヵ年平均	4,054	229	229	238	225	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
30年見通し	4,000	250	260	250	240		
みか	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	静岡を中心に、和歌山、愛知、熊本などから入荷する。前年は長雨や台風の影響で静岡が大きく入荷減となったが、本年は平年並の入荷見込み。一方、和歌山などでは9月の台風による入荷減も懸念される。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高値だった前年をかなり下回る見込み。						
か	25年	2,110	285	274	292	294	岐阜 71%
	26年	2,416	226	224	236	240	愛知 11%
	27年	2,491	238	219	245	257	和歌山 9%
	28年	2,380	277	265	269	291	三重 6%
	29年	2,285	269	244	282	282	奈良 2%
	5ヵ年平均	2,336	258	244	264	272	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
30年見通し	2,100	270	260	280	280		
かき	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	岐阜を中心に、愛知、三重などから入荷する。岐阜の富有柿は平年に比べてやや少ない入荷量となるか。また、9月の台風の被害を受けた地域では傷果が多く、下級品の増加が予想される。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。						

東京都中央卸売市場

10月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	25年	45,920	291	282	290	299	愛媛 16%
	26年	45,734	268	259	267	278	長崎 10%
	27年	44,022	296	277	295	316	熊本 9%
	28年	44,604	332	352	322	315	山形 8%
	29年	46,108	316	292	315	340	和歌山 8%
	5ヵ年平均	45,278	300	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
30年見通し	46,100	330	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	みかん、りんご、かきなどが入荷する。みかんは食味よく量の割に荷動きが良い。りんごは出荷ペースが順調で品質も良く、やや高めの相場になるか。かきは下旬に向かって入荷量が減少傾向となる見込み。入荷量は前年並となり、価格は前年をやや上回る見込み。						
みかん	25年	21,812	244	233	251	243	愛媛 32%
	26年	20,513	201	193	209	200	長崎 22%
	27年	20,495	244	246	247	239	熊本 18%
	28年	21,222	289	254	239	238	和歌山 12%
	29年	21,584	270	245	275	281	佐賀 8%
	5ヵ年平均	21,125	250	234	245	241	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
30年見通し	22,100	260	260	260	260		
みかん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛媛、長崎、熊本を中心に入荷する。全体的に酸抜けがよく、売れ行きが良い状態が続く。極早生が十分な量がある中で早生が始まる。数量に不足感はなく、各産地が揃ってからは売りづらいか。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。						
かき	25年	7,052	275	279	276	269	新潟 15%
	26年	7,278	213	209	209	229	奈良 15%
	27年	6,776	212	185	226	246	愛知 14%
	28年	7,370	270	274	251	272	福岡 12%
	29年	7,452	243	237	249	246	和歌山 12%
	5ヵ年平均	7,186	243	237	242	252	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
30年見通し	7,200	260	250	260	270		
かき	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	平核無、刀根早生は台風等の影響で例年より少ない。次郎は生育が進んでおり、11月下旬には減少する見込み。富有は11月下旬が入荷のピークと見込まれる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。						

切花・鉢花の11月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 10月31日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	25年	1,713	58	
		26年	1,660	44	
		27年	1,875	37	
		28年	1,826	45	
		29年	1,713	50	
	5ヶ年平均		1,757	47	
	30年見通し		1,700	50	
概要	愛知、三重、沖縄から入荷する。台風や高温等の天候の影響を受け、前年よりやや少なめに推移し、上位等級は多くないと思われる。				
小 ぎ	実績	25年	788	37	
		26年	808	34	
		27年	980	20	
		28年	753	30	
		29年	732	39	
	5ヶ年平均		812	31	
	30年見通し		730	35	
概要	愛知、奈良、沖縄から入荷する。台風の影響で上位等級は少なめになるとと思われる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	25年	1,173	39	
		26年	1,024	37	
		27年	1,144	29	
		28年	1,052	35	
		29年	1,021	46	
	5ヶ年平均		1,083	37	
	30年見通し		1,000	40	
概要	長野、愛知、北海道から入荷する。高冷地産は夏場の高温、9月の台風などにより全体に減少。暖地産はスタートから少し遅れたが、11月からは順調な出荷となる。				
か す み	実績	25年	148	85	
		26年	157	75	
		27年	175	54	
		28年	96	159	
		29年	133	125	
	5ヶ年平均		142	93	
	30年見通し		120	130	
概要	高知、和歌山、熊本中心に入荷する。上旬は高冷地産も少しある。全体的に数量は少なく、中旬以降増加してくる見込み。ブライダル引合いは強く、前半は価格は高めに動く見通し。中旬以降は量次第で価格も下がってくる。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	25年	335	172	
		26年	292	158	
		27年	307	152	
		28年	262	202	
		29年	273	192	
	5ヶ年平均		294	174	
	30年見通し		270	185	
概要	<p>オリエンタルは高知、新潟、宮崎、埼玉などから入荷する。高冷地から暖地産地に変わり、前半は気候次第で量が多くなるが、全体では少ない。業務中心の販売で、白系は強いがP系の動きは鈍い。鉄砲は鳥取、高知からの入荷。数量は少なく、業務の動き次第で強い引き合いとなる。LAは例年並の入荷。一般需要が低迷し、動きは悪いとみられる。</p>				
洋らん	実績	25年	488	96	
		26年	490	75	
		27年	499	62	
		28年	515	78	
		29年	463	82	
	5ヶ年平均		491	78	
	30年見通し		480	80	
概要	<p>愛知、鹿児島、高知、徳島の国内物や輸入物などが入荷する。今年の夏の厳しかった天候の影響から徐々に回復気味にある。若干入荷が少ない物もあるだろうが、弱保合基調となる見込み。</p>				
ばら	実績	25年	940	90	
		26年	838	85	
		27年	817	77	
		28年	851	84	
		29年	780	92	
	5ヶ年平均		845	86	
	30年見通し		800	90	
概要	<p>愛知、三重、和歌山、岐阜を主体に入荷する。上旬は遅れていた荷物が出てくるが、中旬以降は落ち着いてくる。一般需要は鈍く、婚礼等の業務需要も控えめで、動きは重いと思われる。</p>				
枝も	実績	25年	1,702	47	
		26年	1,550	44	
		27年	1,469	45	
		28年	1,502	46	
		29年	1,542	52	
	5ヶ年平均		1,553	47	
	30年見通し		1,500	50	
概要	<p>静岡、長野、岐阜を中心に入荷する。クリスマス花材のヒムロは堅調な動きだが、その他の花材は弱含みとなる見込み。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	25年	12,952	856	
		26年	11,524	782	
		27年	11,889	815	
		28年	11,133	719	
		29年	10,437	826	
	5ヶ年平均		11,587	801	
	30年見通し		10,000	820	
概要	<p>入荷量は前年よりやや減少か。輸入原木の減少は落ち着きつつあるが、作付け品目の変更などでドラセナ類は減少する見込み。11月の入荷としても、サイズは中鉢の7号以下が中心で大鉢は少ないと思われ、フィカス類への作付けが増えている影響もある。</p> <p>前年11月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位愛知(41.9%)、2位鹿児島県(21.2%)、3位三重県(8.2%)となっている。</p>				
シャコバサポテン	実績	25年	38,706	424	
		26年	36,572	404	
		27年	35,681	435	
		28年	38,321	454	
		29年	34,066	428	
	5ヶ年平均		36,669	429	
	30年見通し		34,000	426	
概要	<p>入荷量は愛知、関東ともに前年並か。消費動向が小鉢化傾向にあるため、3.5~5号の価格は安定すると思われる。6号以上は全体に作付けが減少しているが、前年並の価格と厳しい状況になる見込み。</p> <p>前年11月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位愛知(70.1%)、2位埼玉(19.4%)、3位茨城(5.9%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	25年	866,458	276	
		26年	850,000	271	
		27年	806,976	282	
		28年	704,910	285	
		29年	847,072	271	
	5ヶ年平均		815,083	277	
	30年見通し		840,000	274	
概要	<p>入荷量は前年並か。開花の遅れが多少気になる。4~5号サイズが前年に比べ減少傾向にある。ガーデンシクラメンに関しては、前年と同量程度の入荷見込み。徐々にではあるが、11月初旬頃から4~5号の入荷も増え始める予想。</p> <p>前年11月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位愛知(29.5%)、2位長野(23.8%)、3位群馬(7.1%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シン ビ ジ ウ ム	実績	25年	66,499	2,353	
		26年	61,199	2,198	
	績	27年	60,154	1,980	
		28年	51,430	1,977	
		29年	43,650	2,399	
		5ヶ年平均	56,586	2,179	
		30年見通し	43,500	2,391	
概要	<p>入荷量は前年並か。今年は夏の天候不順の影響で品種によって花立ちの悪い物が多い。ピンク系、赤系品種は少ない見込み。シンビジウムは開花時に水分を必要とし、11月は外気も乾燥することから、蕾とびの原因になるため水切れには注意をお願いしたい。</p> <p>前年11月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位愛知(55.5%)、2位高知(10.8%)、3位徳島(7.8%)となっている。</p>				
カ ラ ン コ エ	実績	25年	32,012	173	
		26年	33,754	174	
	績	27年	34,214	150	
		28年	29,780	188	
		29年	33,287	161	
		5ヶ年平均	32,609	168	
		30年見通し	30,000	167	
概要	<p>入荷量は前年よりかなり減少か。8月の異常な高温、その後の長雨と度重なる台風被害などで作付けに影響が出ている。全体に10日から半月ほど遅れているようで、ロスも多く出ていることも要因となる。単価面では中値安定の見通し。</p> <p>前年11月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位岐阜(58.9%)、2位埼玉(26.1%)、3位茨城(6.6%)となっている。</p>				
パ ン ジ ー	実績	25年	939,240	49	
		26年	990,934	41	
	績	27年	978,611	43	
		28年	812,441	54	
		29年	915,671	50	
		5ヶ年平均	927,379	47	
		30年見通し	915,000	50	
概要	<p>入荷量は前年並か。生育不良や開花遅れが出荷に影響する。10月前半が少ない分、10月後半から11月前半に出荷が集中する可能性がある。品質は前年よりも良品割合が少ないと思われる。</p> <p>前年11月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位愛知(41.9%)、2位奈良(13.8%)、3位三重(12.0%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.545
平成30年11月発行
農林水産部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434